

乙第拾號

當使権限ノ義御下問、肯上答

山梨縣伺當使権限ノ義御下問ノ趣熟考候處明治二年

七月朔ノリ當使ヲ置カレ長官ヲ一等官トシ諸省同一ノ權

ヲ委セラレ同四年七月長官ヘノ御任状其文字諸省ノ

御ニ下付セラルルモノト異ナルナレ明治八年十一月定メラルハ

所ノ當使職制章程モ亦諸省章程ト異ナラス然ルニ

山梨縣伺ノ意ハ當使職制上使務ヲ一般ニ布達スル等

ノ明文ナリ北海道并屬島洲拓ノ事ヲ管スル有之ヲ以

テ地方官ト同視シ府縣及ヒ一般ノ命令布達スルノ權儀

蓋し未開地方  
而般事務端尚  
ヲシテ各々一部ヲ分  
管セシム他ノ地方ノ  
如クナル能ハサルハ自  
務ニシテ開拓ノ事

ナレトスルノ旨趣ニ候得共當使ノ権限ハ全ク府縣ト同シ  
カラス府縣ハ官省ノ成規ヲ履行シ其命令ヲ遵守シ土  
地人民ヲ保護スルニ過キス當使ハ土地ヲ開拓シテ新ニ邦  
國ヲ成スノ事ヲ管ス夫<sup>擇</sup><sup>擇</sup><sup>擇</sup>曠漠ノ地ヲ亦及シテ新ニ  
邦國ヲ成スハ人民ヲ移シ物産ヲ殖スルヲ以テ要務トス  
民ヲ移シ物<sup>殖</sup>殖スルハ必ラス之ヲ府縣ニ募リ他邦ニ需メ  
ナルヲ得ス然ル時ハ開拓ハ管内ニ施スト雖<sup>此</sup>之ヲ開拓  
全國ニ及<sup>及</sup>フノ義アリ  
不<sup>不</sup>所<sup>所</sup>以<sup>以</sup>ノモノハ然<sup>然</sup>テ府縣ニ開<sup>開</sup>ヤルナ<sup>ナ</sup>シ<sup>シ</sup>政府既<sup>既</sup>之<sup>之</sup>ニ委<sup>委</sup>ス  
ルニ諸省同一ノ權ヲ以テセラル<sup>ル</sup>ハ其府縣ニ関スル所ノ  
事務ヲ命令布達スルハ當使權限上ニ於テ素ヨリ當然ノ

事ニ候抑版圖中北海道ノ如キ他ノ強大國ニ對セル樞要

ノ一大未開地ナレハ全國ノ人民カヲ扱セテ之ヲ開キ以テ國

ヲ護シ益ヲ興スハ全國人民ノ義務タリ然リト雖<sup>此</sup>其勢

人民各自其義務ヲ尽ス能ハス故ニ政府特ニ衙門ヲ置

キ人民ヲ統率シテ之ヲ開カシム然ルニ其衙門ノ如キ府

縣ニ假<sup>假</sup>シト欲スレハ未開ノ地治ムルニ成規ヲ以テスヘカラス是

ヲ以テ特例ヲ設ケテ當使ヲ置キ委スルニ諸省同一ノ權

義ヲ以テセラル<sup>ル</sup>當使ノ府縣ニ異ナル所以ノモノハ蓋シ亦

以等ノ理由ニ可有之候議者謂ヘラク開拓使ハ北海道并

ニ其屬島ヲ管轄スルモノニシテ其他ノ地方ヲ管スルノ權ナ

開拓使

シ其権限廣大ニシテ府縣ノ比ニ非スト雖其他管内ニ  
及ハカルヲ以テ<sup>到</sup>其地位ノ高等ナルト権限ノ廣大  
ナルトニ拘ハラス一地方ノ任ヲ受ケタル地方官ニ類似シテ  
諸省ノ<sup>各</sup>一部<sup>事務</sup>ニ就テ全國ヲ管スル<sup>カ</sup>義<sup>カ</sup>故ニ其管  
内ノ法則ヲ設ケ管民ヲシテ之ヲ遵守セシムルノ権義アリ  
リテ日本全國ニ布達シ府縣ニ達スル等ノ権義ナレ若  
シ其管内ノ事務ニ舟キ一般へ通知セシムヘキモノアルトキ  
ハ他ノ地方官若クハ諸寮ヨリ一般人民へ廣告スルノ例  
ニ倣ヒ事務上差支ノ慮ナカルヘシ從來開拓使ヨリ發ス  
ル諸規則ノ管内限り布達スヘキモノ及ヒ他管内へ通

知スヘキモノモ相混シタルハ其地位ノ諸省ニ亞クヲ以テ自  
然慣習トナリタルナルヘシト夫レ議者當使地方ヲ管轄  
スル一部ノ事務其形跡地方官ニ類似スルモノヲ舉テ當  
使ノ全體ト為シ諸省ノ一部ノ事務ニ舟キ全國ヲ管ス  
ルカ如ク府縣及全國ニ命令布達スル権義ナレトスルハ當  
使事務上第一着ノ要領タル墾地殖民ノ事ト其地方  
ヲ管スル所以トヲ認メ得カル故ニ舟有<sup>キ</sup>也當使ノ北海道  
管轄スルハ<sup>本</sup>管内ヲ開拓シ人民ヲ招徠シ物産ヲ興起ス  
ルカ為メニ併セテ地方ノ事ヲ管スルモノニシテ其地方ヲ  
管轄スルカ為メニ併セテ開拓ノ事ヲ施スニアラス<sup>本</sup>

相 和 吏

地方官管スルノ  
 邊ヨリテ之ヲ見  
 一地方ノ任ヲ受  
 各地方官ト稱シ  
 是等地方官ノ  
 權義アルハ諸省ノ  
 各文一科ノ事務有  
 全國ヲ管スルノ權義  
 アルト一般ナリ錢穀  
 ノ事ハ大藏省之ヲ  
 命令布達シ法律ノ  
 事ハ司法省之ヲ命  
 令布達シ海運地殖  
 民ノ事ハ商使之ヲ  
 命令布達シ以テ只  
 業ヲ施シ務ヲ成ス夫  
 ノ廣告ナル者ハ其功  
 能僅ニ人民ヲシテ開  
 拓セシムルニ止リ之ヲ

所以ノモノハ未開ノ地畢竟府縣ヲ治ムルノ法ヲ以テ之ヲ  
 治ムヘカラス其開拓既ニ成リ人民既ニ聚リ物産既ニ興  
 十制度既ニ立ツニ及ニテ然ル後當リニ府縣ノ治ニ倣フヘキ  
 ヲ以テナリ然ラハ則當使ハ後未北海道ヲ以テ府縣一轍ノ  
 治ニ倣フヘキニ至ラシムルノ本ヲ開スルノ官衙ニシテ府縣ノ上ニ  
 列シ諸省ト其權義ヲ同フスル所以ナリ且當使北海道  
 墾地殖民ノ事務ニ付キ全國ヲ管スルノ權義アルハ猶内  
 務大藏兩省ノ内治理財ノ事務ニ付キ全國ヲ管スルノ  
 權義アルカ如シ内治理財ハ兩省之ヲ布達セサルハ其事  
 發行ハルヘカラス當使殖民ノ事務ニ至テモ亦必ラス府縣

一連シ一般ニ布達スルニ非レハ之ヲ行フ能ハサルナリ從前當  
 使ノ一般ハ布達スル等ハ其地位諸省ニ重クヲ以テ自然  
 慣習トナリタルニ非ス當使初置ノ際ヨリ既ニ諸省同一ノ  
 權義ヲ有スルト政府ノ令スル所トニ因リ候義ニ有之其  
 有  
 ナル所ノ權義ハ前ニ繰述セシ通りニシテ其令スル所ハ明  
 治七年四月保任社廢止ノ義ヲ伺出タルニ其使ヨリ布  
 達スヘキ旨ヲ指令セラレ同年六月内務省ヨリ當使管  
 下國郡村市港灣等名称ノ義ヲ伺出タルニ州郡及  
 港灣ノ名称等ハ正院ヨリ布告シ其村市ノ名称等ハ州  
 拓使ヨリ直ニ布達候義ト心得テ其旨ヲ指令セラレタル

明治三年中  
 拓使ヨリ  
 指令セラレタル

等ノ條件ニ有テ候以上當使諸省同等ノ地位ニ列

レ諸省同一ノ權義ヲ有スル證左ノ最モ彰著ナルモノ

ヲ開列シ別紙山梨縣知事書相覽後ノ御取扱振舞確定

相成候様致度申上章程增補等ノ義進ニ伺出候様

可敷此段上答候也

明治九年五月

開拓長官黒田清隆

本取大臣三條實美殿  
古大臣岩倉具視殿